

4月28日に開催した定期総会の報告として、令和8年度活動方針と会計予算を掲載します。

# 平屋新聞

第2号  
発行  
平屋振興会  
電話  
75-5300

## 第26回定期総会報告 2 令和8年度活動方針・予算

### 企画総務部

一人ひとりが主役の地域づくり

重点目標	事業計画
① 『住んでよかった!住みたくなる平屋』に向かったの前進	住民参加の地域づくりを進め、地域の課題を積極的に集約し、解決に向け努力をするとともに、交流を大切にされた地域づくりを進める。また各種団体との連携を深める。
② 健康と安全・安心の地域づくりの推進	「福祉協」・「南丹市消防団平屋分団」等との連携のもとに、「平屋ふるさとレスキュー隊・消防08機能別団員組織」の活動等を充実し、防災意識の高揚、助け合いの仕組みづくりの推進を図る。
③ 住環境の整備と景観保全事業の推進	行政との連携のもと、住みよい環境・景観づくりに努める。
④ 広報活動の推進	「平屋新聞」・「ふれあい通信ひらや」を活用し、振興会の活動が住民から見える広報活動を進める。
⑤ 「道の駅」等の整備と有効活用	「道の駅連絡協議会」と連携し、「道の駅」の観光資源としての整備・有効活用を図るとともに、他地域や都市部との交流を深める。
⑥ 自主活動の支援	地域づくりのために、自主的な活動を進めている各種団体・グループを支援する。

### 地域振興部

重点目標	概要	事業計画
① 地域コミュニティの強化	地域の施設・資源を活用し交流事業を開催する。	ふれあい夏まつり マルシェ
② 地域活性化	特産物・地域資源を生かした催しを開催する。	ふれあい夏まつり マルシェ ものづくり講座
③ 伝統や文化継承	地域の伝統事業を継承していく。	ふれあい夏まつり



### 生涯教育部

重点目標	概要	事業計画
① 学習活動の推進	幅広い分野での学習を望む住民の声を受け、地域と連携しながら世代間を越えて楽しめる活動に取り組む。	福祉・人権学習会 料理教室
② 文化活動の推進	質の高い文化に触れ、情操を養うとともに地域や個人の文化活動を推進する。	ひらや文化のつどい
③ 子どもの社会力を高める	地域のことを知り、地域の歴史・文化に触れる機会とする。	ふれあい夏まつり (子どもの部)
④ スポーツによる健康作りの推進	世代を超えたスポーツによる交流を通じて親睦を深め、健康作りの推進を図る。	グラウンドゴルフ大会

## 令和8年度 平屋振興会会計予算(案)

〔収入の部〕

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
振興会費	744,000	753,000	△ 9,000	年間3,000円×248戸=744,000円
補助金	1,380,000	1,380,000	0	南丹市美山町地域振興会補助金(135万) 美山町環境保全活動費(3万)
繰越金	286,830	511,433	△ 224,603	前年度繰越金
寄付金	4,000	0	4,000	ふるさと南丹応援交付金
雑収入	115,170	120,567	△ 5,397	北桑時報手数料、コピー利用料 預金利息、資源回収事業収益
合計	2,530,000	2,765,000	△ 235,000	

〔支出の部〕

(単位:円)

項目	細目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事務費		900,000	900,000	0	
	役員報酬	540,000	540,000	0	会長(8万)副会長(5万)事務局長(10万) 事務局次長(3万×2名)部長(5万×2名) 副部長(2万×2名)部員(1万×11名)
	旅費	40,000	40,000	0	役員旅費
	需用費	80,000	80,000	0	事務消耗品、備品購入等
	会議費	25,000	25,000	0	会議費用、総会、区長会等お茶
	使用料	150,000	150,000	0	コピー使用料、インターネット使用料
	役務費	65,000	65,000	0	北桑時報名簿掲載料、郵送代、振込手数料 自治会活動保険料
事業費		1,150,000	1,150,000	0	
	企画総務費	250,000	250,000	0	広報誌発行 資源回収・環境整備
	地域振興費	450,000	450,000	0	夏まつり ふれあいマルシェ ものづくり講座
	生涯教育費	450,000	450,000	0	グラウンドゴルフ大会、夏まつり子どもの部、 文化のつどい、作品展、人権講演会
負担金	負担金	43,000	48,000	△ 5,000	道の駅協議会(5千) 防犯協会(3千) 美山観光まちづくり協会(DMO)(15,000) 小学校卒業記念品(1万) 連絡協議会(1万)
助成金	助成金	190,000	130,000	60,000	消防平屋分団(5万) 老人クラブ(3万) スポーツ少年団(3万) ・ 緑の少年団(2万) 福祉協(3万) ・ 戦没者追悼式(3万)
諸支出金	諸支出金	40,000	70,000	△ 30,000	道相神社例祭(5千) ・ 平屋神社例祭(5千) ・ 資源回収金寄付(3万)
予備費	予備費	107,000	167,000	△ 60,000	
積立金	コミセン運営費	100,000	300,000	△ 200,000	
合計		2,530,000	2,765,000	△ 235,000	

## 連載:美山町包括ケアシステム

## ●健康に住み続けられるまち、美山を目指して 11

先日、大野地区で「健康(健幸)の森づくりワークショップ」を開催しました。「自分にとっての健康(健幸)の秘訣=健康因」を葉っぱに書き出し、グループで「健康(健幸)の木」をつくり、それぞれの木を集めて「健康(健幸)の森」にし、自身・地域の健康の秘訣を見える化する取り組みです。

参加者からは、「畑仕事のあとに飲むお茶」「近所の人との話」「草刈りや地域の掃除」「笑うこと」「(誰か)に必要とされること」「(場所)へ行く日課」など、日常のささやかな営みがたくさん挙げられ、とてもイキイキと楽しそうに取り組んでくれました。当たり前と思っていた暮らしの中に、健康(健幸)のクスリが隠れていることを再発見しました。健康(健幸)は、自分だけでつくるものではなく、人や地域との関わりの中で育まれているのだとみんな気づきました。

今回できあがった木は、それぞれ形も葉っぱも違いました。一人一人に違う健康(健幸)があり、その違いが森の豊かさになります。「健康(健幸)の森」を一緒に育ててくれる方、ワークショップをやりたい方、地域と一緒に活動してくださる方を募集しています!

神戸大学大学院医学系研究科 准教授

美山林健センター 診療所長 西岡大輔